

脳神経細胞のレベル

脳血管障害
ウイルス感染
など

躁うつ病

統合失調症

てんかん

身体疾患

双極性障害

うつ病

非定型うつ病

【火事】精神病性・間欠的だが長期崩壊性

黄色い部分が
うつ病関係

脳回路のレベル

【焼け跡】火事からの回復過程。脳回路のレベル・トラウマ、不適切な学習、レジリエンス、BDNF

火事からの回復期が「うつ病」に見える

脳全体のレベル

神経症性うつ病

神経衰弱

環境と性格の相互作用

休職目当てや金銭目当て

各種新型うつ病

神経症性うつ病

その他いろいろな困りごと
哀しいこと、怒りが
うつ病と認定される

【現状2023年】

・DSM-5で診断すると、うつ病の診断が拡大。上司のパワハラ、セクハラ、いじめ。過重労働。適応障害。会社は自分の優秀さを理解していない。能力はあるのに仕事のミスマッチ。失恋、婚約破棄。離婚、離婚訴訟。夫婦の危機。子供の不適応。近隣の騒音で不愉快。仕事のミスが多い人はADHDと診断されたい。朝がだるくて会社に行きたくない人はうつ病と診断されたい。そして医療機関は簡単に診断書を発行する。現状では客観的な診断基準がないため、できるだけ患者さんの力になりたいという医療者の気持ちが悪用される。うつ病の診断書を出してハワイで遊びSNSにアップして上司に見つかった人。うつ病の診断書を出して愛人と温泉に旅行したのを会社が頼んでいた調査会社に知られた人。福祉関係のいろいろな補助金の申請書作成業務が増えている。貧困ビジネスのひとつのターゲット。休職目当てや金銭目当ての行動や考え方をしていると、やはり普通ではないので、一種の精神障害なのかもしれないと考えざるを得ない。

精神病レベル

脳血管障害
ウイルス感染
など

躁うつ病

統合失調症

てんかん

身体疾患

躁状態

うつ状態

内因性うつ病

非定型うつ病

仮面うつ病

長期間欠性・崩壊性

神経症レベル

心因性うつ病、反応性うつ病
抑うつ神経症
完全回復
環境と性格の反応
状況因

神経症性うつ病
ストレス脆弱性モデル

昔はこうだった

- ・うつ病は、躁うつ病の部分症状だった。
- ・うつ病の場合、躁転の可能性はいつもあり、治療経過の中で躁転に注意していた。
- ・内因性うつ病と神経症性うつ病は区別ができると考えた。
- ・内因性の場合にも、神経症性の成分は混入すると考え、経過の中で変化するものとして、診察の中で内因性成分と神経症成分を区別していた。